平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名　愛眼株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　9854　URL　http://www.aigan.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 下條　三千夫
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長　(氏名) 下　祥造　TEL 06-6772-3383

四半期報告書提出予定日　平成24年11月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,356	△12.7	△762	―	△769	―	△1,492	―
24年3月期第2四半期	9,568	△5.8	167	―	282	―	138	―

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　△1,490百万円　(―%)　24年3月期第2四半期　138百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△76.07	―
24年3月期第2四半期	7.02	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	21,322	18,170	85.2
24年3月期	22,476	19,783	88.0

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　18,170百万円　24年3月期　19,783百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	2.00	2.00
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,386	△8.5	△1,587	―	△1,622	―	△2,388	―	△121.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有
連結業績予想の修正については、本日(平成24年11月9日)に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	21,076,154 株	24年3月期	21,076,154 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,666,160 株	24年3月期	1,396,930 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	19,620,611 株	24年3月期2Q	19,679,429 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災後の復興需要が一巡し夏場の天候不良といった要因もあって個人消費が鈍化し、また円高の長期化や欧州債務危機を背景とした金融市場の不安定さ、さらには中国経済の変調などで輸出が落ち込み景気は後退局面に入り、依然として先行きは不透明な状況となっております。

眼鏡小売業界におきましても、雇用情勢がおおむね横ばいの状況のなか、個人消費は依然節約志向の傾向にあり、収縮した眼鏡小売市場で企業間競争が高度化・精細化し、引き続き厳しい状況で推移しました。

このような状況のもとで当社グループは、本年１月に開始した営業戦略「アイスタイリングサービス」を推進しＮＥＷ愛眼への転換を図ってまいりました。主な施策として ①フレーム・レンズ込みの「スマートプライス」での明瞭なメガネ出来上がり価格表示 ②ライフシーンを想定しオリジナルを中心とするフレームの開発・投入 ③スポーツ用やＰＣ用など使用状況に合わせた最適なレンズ提案 ④白色を基調に明るく清潔感あふれるＮＥＷ愛眼への既存店舗の改装 ⑤統一感のあるＰＯＰなどを使用し商品が映える店内演出 ⑥新販売システムに対応した従業員の再教育 ⑦マス媒体、Ｗｅｂ広告等による周知徹底のための広告宣伝の強化 などを実践し、販路の再活性化に臨んでおります。地域消費者の皆様にＮＥＷ愛眼が徐々に認知されてきておりますが、新商品の投入や個店毎の商品構成の見直し等が予定より遅れ、売れ筋価格帯の商品が整わず、店頭での魅力が不足し消費者の購入意欲を十分に引き出すことができませんでした。

経費については、ＮＥＷ愛眼浸透のため積極的にマス媒体やＤＭを活用したことで広告宣伝費が増加し、また62店舗の改装により備品費、修繕費、消耗品費等が増加しました。しかし、７店舗の閉鎖や新規採用の抑制などによる人件費・賃借料等の圧縮など経費削減に取り組んだ結果、経費は前年を下回りました。

海外(中華人民共和国)におきましては、社会的不安要因があるものの、新規に１店舗を開設、１店舗を閉鎖し21店舗(フランチャイズチェーン店を含む)となりました。慎重な営業活動を進めながら、売上増加に努めております。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は8,356百万円（前年同四半期比12.7%減）となり、営業損失は762百万円（前年同四半期は営業利益167百万円）、経常損失は769百万円（前年同四半期は経常利益282百万円）、四半期純損失は1,492百万円（前年同四半期は四半期純利益138百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①　資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の資産合計は21,322百万円、負債合計は3,152百万円、純資産合計は18,170百万円となりました。前連結会計年度末に比べ負債合計が458百万円増加し、純資産合計が1,612百万円減少した結果、自己資本比率は85.2%となりました。

②　キャッシュ・フローの状況

当社グループの資金状況は、下記の通りです。

現金及び現金同等物の当第２四半期連結会計期間末残高は、2,480百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次の通りであります。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動におけるキャッシュ・フローは△1,212百万円（前年同四半期は229百万円）となりました。

この現況に至った主な要因は、税金等調整前四半期純損失△1,440百万円、法人税等の支払額△105百万円、減価償却費175百万円、減損損失162百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動におけるキャッシュ・フローは169百万円（前年同四半期は△339百万円）となりました。

この現況に至った主な要因は、定期預金の預入による支出△222百万円、定期預金の払戻による収入511百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動におけるキャッシュ・フローは377百万円（前年同四半期は△39百万円）となりました。

この現況に至った主な要因は、長期借入れによる収入500百万円、自己株式の取得による支出△83百万円によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年８月10日に公表しました通期の連結業績予想を修正しております。詳細については平成24年11月９日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、連結業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第２四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,478	6,534
受取手形及び売掛金	957	902
商品及び製品	2,279	2,315
原材料及び貯蔵品	17	16
その他	172	170
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	10,895	9,929
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,665	7,524
減価償却累計額	△5,624	△5,551
建物及び構築物（純額）	2,041	1,972
土地	2,119	2,119
その他	2,764	2,801
減価償却累計額	△2,393	△2,396
その他（純額）	370	404
有形固定資産合計	4,531	4,496
無形固定資産	159	147
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,349	4,228
投資有価証券	843	1,163
長期預金	207	200
その他	1,511	1,177
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	6,890	6,749
固定資産合計	11,581	11,393
資産合計	22,476	21,322

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	979	925
1年内返済予定の長期借入金	－	65
未払法人税等	129	76
賞与引当金	100	101
その他	958	1,030
流動負債合計	2,167	2,199
固定負債		
長期借入金	－	435
繰延税金負債	12	16
再評価に係る繰延税金負債	14	14
負ののれん	2	1
資産除去債務	353	342
その他	143	143
固定負債合計	525	953
負債合計	2,693	3,152
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,478	5,478
資本剰余金	6,962	6,962
利益剰余金	11,877	10,345
自己株式	△967	△1,050
株主資本合計	23,350	21,735
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	12
土地再評価差額金	△3,575	△3,575
為替換算調整勘定	△4	△2
その他の包括利益累計額合計	△3,567	△3,565
純資産合計	19,783	18,170
負債純資産合計	22,476	21,322

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	9,568	8,356
売上原価	3,014	2,803
売上総利益	6,553	5,552
販売費及び一般管理費	6,385	6,315
営業利益又は営業損失（△）	167	△762
営業外収益		
受取利息	12	10
受取配当金	5	4
受取家賃	18	18
役員退職慰労引当金戻入額	101	－
負ののれん償却額	2	1
その他	45	27
営業外収益合計	186	62
営業外費用		
支払利息	－	1
固定資産除却損	1	37
店舗閉鎖損失	35	6
賃貸費用	15	15
その他	19	9
営業外費用合計	72	69
経常利益又は経常損失（△）	282	△769
特別利益		
投資有価証券売却益	0	－
特別利益合計	0	－
特別損失		
投資有価証券売却損	0	－
投資有価証券評価損	0	5
減損損失	92	162
特別退職金	－	502
特別損失合計	93	670
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	189	△1,440
法人税、住民税及び事業税	52	52
法人税等調整額	△0	△0
法人税等合計	51	52
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	138	△1,492
四半期純利益又は四半期純損失（△）	138	△1,492

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	138	△1,492
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	1	1
その他の包括利益合計	0	2
四半期包括利益	138	△1,490
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	138	△1,490

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	189	△1,440
減価償却費	209	175
特別退職金	―	502
減損損失	92	162
負ののれん償却額	△2	△1
賞与引当金の増減額（△は減少）	2	1
売上債権の増減額（△は増加）	△182	55
たな卸資産の増減額（△は増加）	109	△34
仕入債務の増減額（△は減少）	106	△54
その他	△209	△34
小計	315	△666
特別退職金の支払額	―	△454
利息及び配当金の受取額	18	14
利息の支払額	―	△1
法人税等の支払額	△107	△105
法人税等の還付額	2	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	229	△1,212
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△612	△222
定期預金の払戻による収入	216	511
有形固定資産の取得による支出	△129	△167
有形固定資産の売却による収入	0	―
投資有価証券の取得による支出	△25	△519
投資有価証券の売却による収入	25	200
その他	186	368
投資活動によるキャッシュ・フロー	△339	169
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	―	500
自己株式の売却による収入	―	0
自己株式の取得による支出	△0	△83
配当金の支払額	△39	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△39	377
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△152	△664
現金及び現金同等物の期首残高	3,572	3,144
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,419	2,480

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。